

本会の活動から

学術集会への参加等

- 第109回日本消化器病学会総会が4月6～8日、「人生100年時代、健康長寿を支える消化器病学を目指して」をテーマに長崎県長崎市で開催され、保健会館クリニック副所長の星野京子と消化器診断部長の川崎成郎が参加した。
- 第126回日本小児科学会学術集会が4月14～16日、「Globalな視点で子どもたちの未来を考える」をテーマに東京都品川区で開催され、検査研究センター担当理事の阿部勝巳とデジタル推進局部長の高橋政道が参加した。
- 第31回日本医学会総会2023東京が4月21～23日、「ビッグデータが拓く未来の医学と医療——豊かな人生100年時代を求めて」をテーマに東京都千代田区で開催され、検査研究センター長の久布白兼行と消化器診断部長の川崎成郎が参加した。
- 第96回日本産業衛生学会が5月10～12日、「強くしなやかな産業保健をめざして」をテーマに栃木県宇都宮市で開催され、検査研究センター長の久布白兼行と事業本部担当理事の大畠利彦、健康増進部長の菅原哲也、同部次長の加藤京子が参加した。
- 第50回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会が5月13～14日、「超音波魂で未来をひらく」をテーマに東京都千代田区で開催され、検診検査部の職員1人が参加した。
- 第64回日本臨床細胞学会総会（春期大会）が6月9～11日、「細胞でワクワクしよう——技術を極め、次世代に伝える」をテーマに愛知県名古屋市で開催され、検査研究センター長の久布白兼行と母子保健検査部の職員4人が参加した。
- 第48回日本超音波検査学会学術集会が6月10～11日、「時空をこえる超音波——検査技術の

飛翔と伝承」をテーマに大阪府大阪市で開催され、検診検査部長の神宮字広明が参加した。

- 第62回日本消化器がん検診学会総会が6月30～7月2日、「集団のパラダイムシフト——効率的で効果的な消化器がん対策を目指して」をテーマに宮城県仙台市で開催され、放射線部の職員1人が参加した。

令和5年度理事会、評議員会を開催

本会の令和5年度第1回理事会（定例）が6月6日に開かれ、理事長の久布白兼行を議長に、「令和4年度の事業報告と収支決算」「定時評議員会の開催について」の議案が審議され、いずれも満場一致で決議された。

一方、6月22日に開かれた令和5年度第1回評議員会（定時）では、柴田昭二評議員を議長に選任し、「令和4年度の事業報告と収支決算承認の件」「任期満了に伴う（理事・監事）選任の件」に関する議案の審議が行われ、いずれも満場一致で決議された。

また同日、評議員会に続いて開かれた第2回理事会（臨時）では、業務執行理事の担当業務などが決議され、新体制が次のように決まった。

理事長＝久布白兼行、専務理事＝小川登（経理担当）、常務理事＝大畠利彦（事業本部担当）、常勤の理事＝阿部勝巳（健康支援センター担当）、前田秀喜（総務、デジタル推進局担当）、矢島晴美（検査研究センター担当）、理事＝佐藤智秀（東京都福祉保健局長）、松本和紀（東京産婦人科医会会長）、櫻林郁之介（予防医学事業中央会理事長）、北村邦夫（日本家族計画協会会長）、根本克幸（神奈川県予防医学協会理事長）、須賀万智（東京慈恵会医科大学環境保健医学講座教授）、監事＝小海正勝（高田・小海法律事務所弁護士）、中村寿孝（樋口会計事務所税理士）
<順不同>